

令和 2 年度ボランティア・市民活動団体等研修費助成
区分（3）防災・減災プログラム研修

① 一般社団法人 ピースボート災害支援センター



▶団体概要・実績

<https://pbv.or.jp/>



東日本大震災を受けて「人こそが人を支援できる」を理念に 2011 年 4 月に設立。以降「国内外の災害救援」「防災・減災への取り組み」を中心に活動を行っています。

これまでに海外 10 ヶ国、国内 34 地域での被災地支援を実施、延べ 10 万人以上のボランティアをコーディネート。その経験を基に平時には様々な形で防災減災の取り組みを行っており、中でも防災・減災教育プログラムは「災害ボランティア」「自治会や地域住民」「災害ボランティアセンター運営者」「行政」等、対象や目的に合わせた研修や訓練はこれまで 500 回以上、延べ受講人数 14,000 人以上にのびります。

<国内の主な支援先>

東日本大震災／宮城県石巻市等（継続中）、伊豆大島土砂災害／大島町
関東・東北豪雨／茨城県常総市等、熊本地震／益城町・西原村等
大阪北部地震／高槻市、茨木市、西日本豪雨／倉敷市
北海道胆振東部地震／厚真町

九州北部豪雨（2019 年）／佐賀県武雄市、大町町

台風 15 号・19 号／福島県いわき市、千葉県鋸南町（共に継続中）等

<主な研修実績>

災害ボランティアセンター運営者研修（主催：全国社会福祉協議会）

民間事業者による災害時の社会貢献活動～企業に求められる災害支援～

（主催：栃木県危機管理課）

わが家の災害対応ワークショップ（主催：株式会社カインズ）等

【2020 年 3 月現在】

▶文社協との係わり

城北ブロック 4 区（文京・台東・北・荒川区）では、平成 25 年に「災害ボランティアセンターの相互協力に関する協定」を締結しており、城北ブロック担当 NPO・NGO として東京都災害ボランティアセンター『アクションプラン』に位置付けられています。

城北ブロック会議や共催事業の開催を例年協働で行っています。

▶防災・減災プログラム

避難所運営について、災害に備えて家庭でできること、災害時の支援を活かすための地域の取り組み、災害ボランティアについて 等（参考 <https://pbv.or.jp/sonae>）

▶備考

被災地支援等の関係で、研修実施の日程調整が難しい時期があります。お早めにご相談ください。

※オンラインでの研修開催も相談可能です。

▶申込方法

文京区社会福祉協議会 文京ボランティア支援センターを経由してお申込みください。

令和 2 年度ボランティア・市民活動団体等研修費助成
区分 (3) 防災・減災プログラム研修

② 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

▶文社協との係わり

一社) 日本地域福祉ファン
ドレイジングネットワーク
COMMNET が主催する「国際
NGO/NPO・地域福祉団
体寄付文化醸成及び
ファンレイジング
連携プロジェクトモ
デル事業」に参加し、
「寄付」について豊富
なノウハウを持つ国際
NGO/ NPO である、
セーブ・ザ・チルド
レン・ジャパン、国境な
き医師団日本、ワール
ド・ビジョン・ジャパ
ン、プラン・インター
ナショナル・ジャパ
ンと 2018 年 2 月に連携
協定を締結しました。

▶団体概要・実績

<https://www.savechildren.or.jp/>



セーブ・ザ・チルドレンは、日本を含む世界 120 ケ国で子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際組織です。子どもの権利が実現された世界を目指し、100 年にわたり活動しています。日本国内でも、子どもの貧困や子ども虐待といった日本の子どもを取り巻く課題に取り組むほか、自然災害における緊急・復興支援活動を行っています。

2014 年から災害など緊急時にストレスを抱えた子どもや親、養育者に対するところのサポートとして、心理や精神保健の専門家でなくても、誰もが使える、子どものところの応急手当て、「子どものための心理的応急処置」(※詳細は下記「防災・減災プログラム」欄参照)を実践・普及しています。これまでに、教員、保育士、放課後児童クラブ支援員、子ども・子育て支援者、保健医療者、行政関係者など、11,000 人以上が研修を受講しています。

<国内の主な緊急・復興支援先>

東日本大震災 (2011 年)、熊本地震 (2016 年)、鳥取県中部地震 (2016 年)、九州北部豪雨 (2017 年)、西日本豪雨 (2018 年)、九州北部大雨 (2019 年)、台風 15 号 (2019 年)、台風 19 号 (2019 年) 等

<主な研修実績>

宮城県教員研修 (防災主任研修会) 2016~2018 年 (主催: 宮城県)

災害ボランティア研修 2018 年 8 月

(主催: 伊賀市社会福祉協議会・伊賀市災害ボランティアセンター)

人権教育研修 2020 年 1 月 (主催: 倉敷市教育委員会) 等

【2020 年 3 月現在】

▶防災・減災プログラム

「子どものための心理的応急処置: Psychological First Aid for Children (子どものための PFA)」

災害時などに、ストレスを抱えた子どもや親・養育者のところを傷つけずに対応するためのスキルです。世界保健機関 (WHO) 等が作成した PFA マニュアルをもとに、セーブ・ザ・チルドレンが 2013 年に開発しました。子どもの認知発達段階の特性や年齢にあわせて、誰にでもできるところの応急手当てです。※研修の参加にあたり、心理などに関する特別な知識は必要ありません。

(参考 <https://www.savechildren.or.jp/lp/pfa/>)

▶備考

被災地支援等の関係で、研修実施の日程調整が難しい時期があります。
研修のお申し込みは、できれば開催希望日の 3 カ月前までにお問い合わせください。
※オンラインでの研修開催も相談可能です。

▶申込方法

文京区社会福祉協議会 文京ボランティア支援センターを經由してお申込みください。